

2012年度 第1回 日本470協会 理事会議事録

開催日時： 2012年5月18日（金） 18：40～21：00

開催場所： 岸記念体育館 会議室

出席者： 渡邊、倭、信時、相澤、秋元、佐藤、葛西、戸張、三船、五味、加藤、京黒、
武田（敬称略）13名

オブザーバー：全日本実業団 新理事 渡邊様
香川県ヨット連盟理事長 斎藤様

【議 題】

1. 今期の組織体制報告（信時理事長）
2. H23年度会計報告（武田理事）
3. 本年度全日本470のレース形式について（斎藤香川県ヨット連盟理事長）
4. ヤマハ新艇MC/MFの業務フロー報告（京黒理事）
5. 計測料金の体系について（京黒理事）
6. 制式艇種制定委員会報告（三船理事）
7. その他

渡邊会長より挨拶：オリンピック選考になる470ワールドで男女共に健闘している
応援しましょう！

信時理事長よりオブザーバーの紹介

1. 今期の組織体制報告

信時理事長より、資料に基づき報告され、承認された。

赤色の部分が新規および変更内容

- ・飯島理事が計測事務局の担当として計測事務手続きの窓口となり計測書類の一括管理を行う。
- ・中国水域は柚木理事が退任し、岩崎理事が中国水域の推薦を受けて新任。
- ・三船理事が全国加盟団体代表者会議の代表者を兼務。
- ・理事会に出るのは難しい状況でも協会の活動が可能な方に、委員・アドバイザー職を設置して活動していただく。

新規委員

広報委員 村田さん：470協会のHPの運用を舵の松本さんと一緒に担当。
現役470選手で、江ノ島の社会人セーラーを組織化している代表者。
昨年全日本でも出場しゴールドフリートに入っている。

国際委員 樋口さん：早稲田セーリングのOGで現学生。EOWなどで通訳として活躍。
昨年の国際470協会会長の来日時にも観光時にアテンドした。

2. H23年度会計報告

武田理事より資料に基づき報告された。

支援金については3年間継続した上でその効果検証をし、次のプランを検討することとしていた。今年が3年目になるので全日本470の時の理事会などで意見を吸い上げ、その後、年度内を目処に次年度以降のプランを作成する予定とする。

3. 本年度全日本470のレース形式について

齋藤香川県ヨット連盟理事長より、資料に基づき説明された。

レース日程及びレース数の表記についての意見交換の後、概ねこの内容で承認された。

主な意見は以下の通り。

- ・レース公示が広報されてから、実際の計測日まで間があるので、詳しく計測内容をうたわないほうが良いのでは。
- ・レース成立数については予選、決勝と分けなくて全3レースとしたほうがよいのでは。
- ・昨年の蒲郡の全日本のように、レセプションなど選手同士が交流できる場をつくったほうが良いのではないかと。
- ・今年は四国で選手の参加数が厳しい可能性があるため、早くレース公示を出して告知をしたほうがよいのではないかと。
- ・レースのコースについてワールド等の国際レースの流れと乖離しているのではという意見があったが、オリンピックの年の全日本は選手も新旧交代の時期でもあり、新しい試みをする場として位置づけられている中での計画であることについて補足があった。

4. ヤマハ新艇MC/MFの業務フローについて報告

京黒理事より資料に基づき報告された。

5. 計測料金の体系について

京黒理事より資料に基づき説明があり、質疑応答のあと、案①で承認された。

主な意見や対応は以下の通り。

- ・計測事務手続きの作業料についての支払方法について意見が出たが、今後、話をつめることとする。

- ・作業料を設定していない他の業務との整合性はとれるのかについての意見が出たが、選手に直接対応する必要がある業務と、間接的には関係するものの直接対応しない業務の違いで分けて考え、直接対応する業務としてレース運営でのアルバイト料のことが例として挙げられた。

6. 制式艇種制定委員会報告

三船理事より口頭にて報告された。

※今回、録音機材で記録が取れていなかったため再現できず、申し訳ございません。